

検討会報告書目次（最終案）の見直し

第 4 回	第 5 回
はじめに	はじめに
第 1 章 国立大学等の施設整備の現状と課題 1. 現状 2. 課題	第 1 章 国立大学等施設の現状と課題 第 1 節 施設の現状と課題 第 2 節 設計の現状と課題
第 2 章 施設整備の基本的考え方 1. 教育研究の活性化 2. 施設の質的向上 3. 施設整備を進めるためのプロセス	第 2 章 設計の基本的考え方 大学機能の活性化の推進 1. 教育研究空間の最適化 2. 施設水準の向上 3. 設計プロセスの改善
第 3 章 教育研究の活性化をもたらすための留意事項 1. 交流促進への配慮 2. 快適性への配慮 3. フレキシビリティの確保	第 3 章 教育研究空間の最適化 第 1 節 交流促進への配慮 第 2 節 快適性・利便性への配慮 第 3 節 機動的変性の確保
第 4 章 施設の質的向上の留意事項 1. 安全な施設環境 (1) 防災 (2) 防犯 (3) 事故防止 2. 環境配慮型施設への転換 (1) 施設の長寿命化 (2) 省エネルギー・省資源の推進 (3) エコマテリアルの使用 3. コストの最適化 (1) ライフサイクルコストの検討 (2) コスト配分	第 4 章 施設水準の向上 第 1 節 安全な施設環境 1. 防災機能の強化 2. 防犯 3. 事故防止 第 2 節 環境配慮型施設への転換 1. 施設の長寿命化 2. 省エネルギー・省資源等の推進 3. エコマテリアルの使用 4. 景観への配慮
第 5 章 施設整備プロセスの留意事項 1. 事業の企画・立案 (1) 将来構想の把握 (2) キャンパスマスタープランとの整合 (3) 施設整備手法の設定 2. 基本計画 (1) 与条件の調査・整理 (1) 計画方針の策定・規模（全体及び諸室）等の設定 (3) 学内の合意形成 3. 基本設計 (1) 設計条件 (2) 基本設計方針の策定 (3) プランニング (4) 各種計画 (5) 施設利用者等との合意 4. 実施設計 (1) 要求等の確認・法令上の諸条件の調査 (2) 実施設計方針の策定 (3) 詳細設計 5. 設計意図の伝達	第 5 章 設計プロセスと推進体制 第 1 節 企画・立案 1. 企画・立案の目的 2. 企画書の策定 第 2 節 基本計画 1. 基本計画の目的 2. 推進体制の構築 3. 基本計画書の策定 4. 学内合意と情報発信 第 3 節 基本設計 1. 基本設計の目的 2. 推進体制の強化 3. 基本設計書の策定 4. 基本設計の決定 第 4 節 実施設計 1. 実施設計の目的 2. 基本設計書の修正 第 5 節 施工 1. 設計意図の伝達 2. 施設性能の確認等 第 6 節 運用 1. 基本計画書等の保存・継承 2. 施設の学内評価とフィードバック

第4回	第5回
<p>第6章 主な空間計画の留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションスペース 2. 能動的学修スペース 3. 講義スペース 4. 実験・研究スペース 5. 教員スペース <p>第7章 よりよい施設にするための推進方策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国立大学等に求められる取組 <ol style="list-style-type: none"> (1) 組織づくり (2) 設計期間の確保・設計品質の向上 (3) P D C Aサイクルの確立 (4) 人材育成 2. 国に求められる取組 <ol style="list-style-type: none"> (1) 普及・啓発活動の実施 (2) 支援の充実 (3) 技術的情報の提供 	<p>第6章 教育研究空間</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションスペース 2. 能動的学修スペース 3. 講義スペース 4. 実験・研究スペース 5. 教員スペース 6. 災害対応スペース <p>第7章 大学機能が活性化する教育研究空間づくりの推進方策</p> <p>第1節 国立大学等に求められる取組</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 戦略的広報 2. P D C Aサイクルの確立 3. 人材育成 4. 経営的視点に立ったコスト意識の醸成 <p>第2節 国に求められる取組</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 普及・啓発活動の実施 2. 支援の充実 3. 技術的情報の提供 4. フォローアップ